

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2009-368(P2009-368A)

【公開日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2007-165277(P2007-165277)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/08 (2006.01)

A 6 1 B 3/028 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/08

A 6 1 B 3/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月16日(2010.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画素毎にRGBの各カラーフィルタが一定方向に配列されたディスプレイと、ディスプレイの前面に配置される偏光光学部材であって、ディスプレイが持つ画素に対応して交互に配列された左眼用光学領域及び右眼用光学領域を持ち、該左眼用光学領域及び右眼用光学領域がディスプレイからの光を通過させるとときに互いに直交する偏光軸の光に変換する偏光光学部材と、両眼視機能検査視標を含む視標を選択する視標選択手段と、両眼視機能検査視標が選択されたときに前記ディスプレイの表示を制御し、前記左眼用光学領域に対応した画素に左眼用視標を表示させ、前記右眼用光学領域に対応した画素に右眼用視標を表示させる表示制御手段と、を備える視標呈示装置において、

前記ディスプレイには、画素毎のRGBの各カラーフィルタが縦方向に順に並べられよう配置され、前記偏光光学部材の左眼用光学領域及び右眼用光学領域は、ディスプレイが持つ画素に対応して縦方向に延びるライン状に横方向に交互に配列されていることを特徴とする視標呈示装置。

【請求項2】

請求項1の視標呈示装置は、前記ディスプレイに表示する方向性を持つ視標データを記憶する記憶手段を備え、前記表示制御手段は前記視標選択手段の選択信号に基づいて前記記憶手段に記憶された視標データを呼び出してディスプレイに視標を表示させる手段であり、前記ディスプレイは、画素の表示信号が左端から右端へ走査されると共にRGBの各カラーフィルタが横方向に順に並べられたディスプレイを時計回り又は反時計回りに90度回転されて配置されたディスプレイであり、前記視標データは前記ディスプレイの回転に對して反対方向に90度回転されたデータとして前記記憶手段に記憶されていることを特徴とする視標呈示装置。

【請求項3】

請求項1の視標呈示装置において、前記ディスプレイは、画素の表示信号が左端から右端へ走査されると共にRGBの各カラーフィルタが横方向に順に並べられたディスプレイを時計回り又は反時計回りに90度回転されて配置されたディスプレイであり、前記表示制御手段は、前記視標選択手段により方向性を持つ視標が選択されたときには、選択された

視標の方向と前記ディスプレイに表示される視標の方向とを一致させるように、前記ディスプレイの回転情報に基づいて表示を制御することを特徴とする視標呈示装置。

【請求項 4】

請求項 1 の視標呈示装置において、前記 R G B の各カラーフィルタは、前記左眼用光学領域及び右眼用光学領域の境界にある画素を白色表示させるとときに、前記偏光光学部材との隙間の影響によって前記左眼用光学領域及び右眼用光学領域の一方の画素から漏れる光が白色光となるように、前記境界部分で画素毎に同色の配置であることを特徴とする視標呈示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、上記課題を解決するために、以下のような構成を備えることを特徴とする。  
(1) 画素毎に R G B の各カラーフィルタが一定方向に配列されたディスプレイと、ディスプレイの前面に配置される偏光光学部材であって、ディスプレイが持つ画素に対応して交互に配列された左眼用光学領域及び右眼用光学領域を持ち、該左眼用光学領域及び右眼用光学領域がディスプレイからの光を通過させるとときに互いに直交する偏光軸の光に変換する偏光光学部材と、両眼視機能検査視標を含む視標を選択する視標選択手段と、両眼視機能検査視標が選択されたときに前記ディスプレイの表示を制御し、前記左眼用光学領域に対応した画素に左眼用視標を表示させ、前記右眼用光学領域に対応した画素に右眼用視標を表示させる表示制御手段と、を備える視標呈示装置において、

前記ディスプレイには、画素毎の R G B の各カラーフィルタが縦方向に順に並べられよう配置され、前記偏光光学部材の左眼用光学領域及び右眼用光学領域は、ディスプレイが持つ画素に対応して縦方向に延びるライン状に横方向に交互に配列されていることを特徴とする。

(2) (1) の視標呈示装置は、前記ディスプレイに表示する方向性を持つ視標データを記憶する記憶手段を備え、前記表示制御手段は前記視標選択手段の選択信号に基づいて前記記憶手段に記憶された視標データを呼び出してディスプレイに視標を表示させる手段であり、前記ディスプレイは、画素の表示信号が左端から右端へ走査されると共に R G B の各カラーフィルタが横方向に順に並べられたディスプレイを時計回り又は反時計回りに 90 度回転させて配置されたディスプレイであり、前記視標データは前記ディスプレイの回転に対して反対方向に 90 度回転されたデータとして前記記憶手段に記憶されていることを特徴とする。

(3) (1) の視標呈示装置において、前記ディスプレイは、画素の表示信号が左端から右端へ走査されると共に R G B の各カラーフィルタが横方向に順に並べられたディスプレイを時計回り又は反時計回りに 90 度回転させて配置されたディスプレイであり、前記表示制御手段は、前記視標選択手段により方向性を持つ視標が選択されたときには、選択された視標の方向と前記ディスプレイに表示される視標の方向とを一致させるように、前記ディスプレイの回転情報に基づいて表示を制御することを特徴とする。

(4) (1) の視標呈示装置において、前記 R G B の各カラーフィルタは、前記左眼用光学領域及び右眼用光学領域の境界にある画素を白色表示させるとときに、前記偏光光学部材との隙間の影響によって前記左眼用光学領域及び右眼用光学領域の一方の画素から漏れる光が白色光となるように、前記境界部分で画素毎に同色の配置であることを特徴とする。

。